



町民300人の声

全議員で
リモート取材

コロナ禍にあっても様々な工夫を凝らして町民の声を聞く議員

電話で

ソーシャルディスタンスで

スマホで

電話で

自粛、自粛で生活に戸惑う。経済的な保証なしに自粛はできない

基礎疾患があるので重症化が怖い。予防に神経をすり減らしている

学校での感染と教育の遅れが心配です。ここにお金をかけてほしい

感染も地域格差がある。拡大していない寄居町では、**経済対策に特化すべき**

継続的な**経済支援**が必要。長引けば寄居町でも倒れる会社が續出する

収入がない中、特別給付金の支給が早くて安堵。**迅速な対応に感謝**

報道に**流されすぎ**。もっと普通に生活も経済活動もできるのでは

スマホで

パラマキのツケは誰が払うのか。**特効薬やワクチンの開発**が最優先

職場が都内、電車で通勤している。もし**自分が感染したら…不安**

様々なツールを駆使して

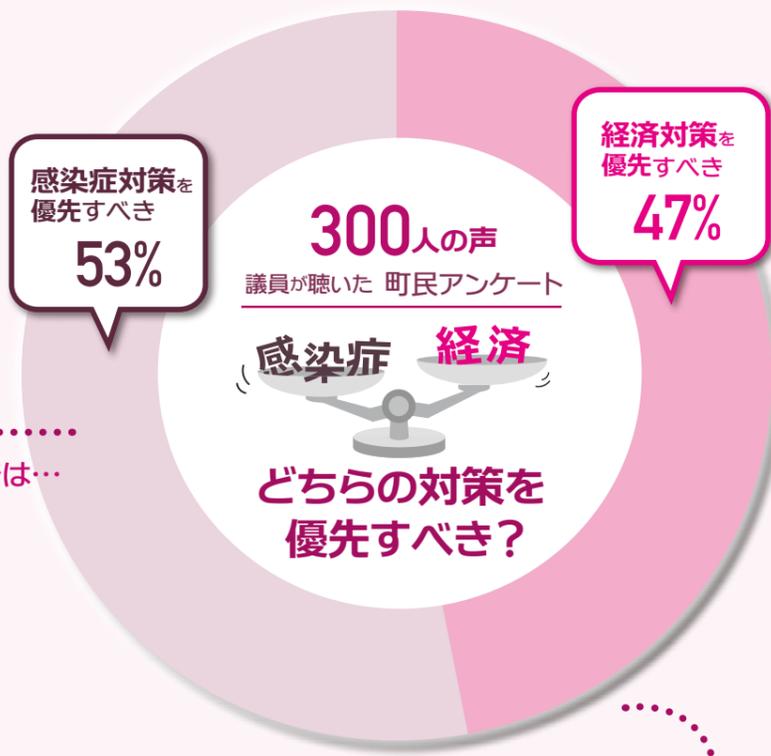
壊されてなるものか

～大切な人とふるさとを守るため～

コロナ禍での6月議会。国の第一次補正予算に対する寄居町独自の施策が議論の焦点となりました。前例のない大規模感染症に対する施策を町民はどうとらえ、議会はどう評価したのか。

民意は拮抗
感染症対策がやや優先か

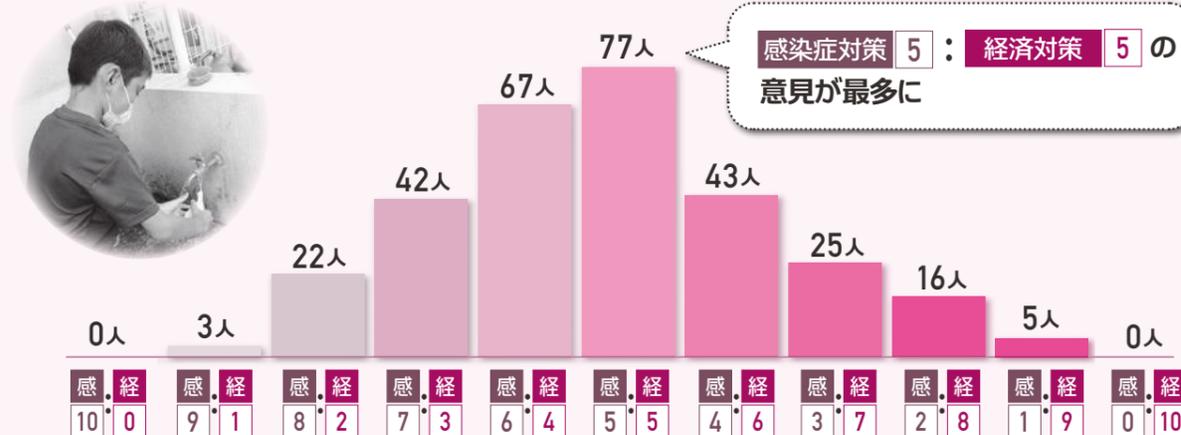
財源には限度があります。今、寄居町として使うべきは感染症対策か経済対策か。議員16名が町民の皆さん300人に緊急取材。結果は「感染症対策優先53%：経済対策優先47%」で、ほぼ拮抗。調査期間は緊急事態宣言が解除され間もない6/2～12。安堵と不安が交錯した結果に。



声の中身は…

内訳は…

臨時休校の受け皿となった学童保育。感染予防対策をしながらの対応にも限界が…



ギカイの視点 未曾有の事態に立ち向かう

第一次補正予算に対する考え方

- 1 新型コロナウイルス感染拡大により、大きな打撃を受けた**地域経済への救済が不可欠**。
- 2 町民の皆さんが望んだ感染症対策について。寄居町における**一番の対策は3密を避け、さまざまな活動を自粛すること**。休業・自粛と経済・生活への**補償はセット**で。

これからの対策は

- 1 **地域社会・経済を疲弊させない支援、対策**が引き続き必要。しかし、**財源には限りがあるのも事実**。
- 2 感染症対策が長期化することを視野に入れて「**新しい生活様式**」を確立する**予算づけが急務**。

◀◀ 町のコロナ対策7事業に注目! 町民の声は… (次ページ)